

(案)

市民図書館の利用に関するアンケート実施要項

1. 目 的

石狩市民の利用実態や、市民ニーズを把握し、より多くの市民に利用されるような図書館運営について、今後の方向性を探る。

2. アンケートの背景、ねらい

石狩市民図書館は平成 12 年の開館以来、生涯学習の基盤として、また、多くの人が集い交流する場所として、多くの人に利用されている。

一方、平成17年の厚田村、浜益村との合併、高齢化の進展など、本市をとりまく環境は確実に変化しつつある。また統計からは、石狩市民の登録割合が下がっているという実態が確認されている。

今後も引き続き多くの市民に利用されるよう、時代の変化や市民のニーズに対応して適切に事業展開を図るため、特に次の点に着目し調査する。

- (1) 非利用者が利用しない理由の把握
- (2) 利用者カードの使われ方の実態把握（本人は利用登録せず、家族のカードで借りているなど）
- (3) 利用者の来館目的の把握

3. 結果の活用

- ・運営改善に向けた基礎資料とする
- ・次期石狩市教育プラン及び石狩市民図書館ビジョン（いずれも平成 32～）の策定作業における参考資料とする

4. 実 施 者

石狩市教育委員会生涯学習部市民図書館

5. 対象、手法

(1) 対 象

調査地域	石狩市全域
調査対象者	石狩市に住民登録のある、満 20 歳以上の市民 2,000 人

(2) 手 法

抽出方法	性別、年代は均等に、居住地区は人口構成比に比例した割合で無作為抽出（抽出人数 2,000 人）
実施方法	郵送による調査票の配布と回収
実施期間	平成 29 年 10 月 12 日（木）～25 日（水）の 2 週間

6. 公 開

ホームページで公開

7. 調査項目

別紙